

2017年8月2日

聖路加国際病院 夏休み公開講座
小児がん支援のレモネードスタンド体験
(共催：聖路加国際病院／認定 NPO 法人キャンサーネットジャパン)
感想の報告

2017年7月28日(金) 聖路加国際病院 本館 2F トイスラーホール にて開催されました表題セミナーのアンケート結果を、ご報告申し上げます。当日は、46名の小中高校・専門学校生が参加され、うち46名の方から感想を頂きました。(回収率 100%)。また、見学の皆様 18名からも感想を頂きました。頂きましたコメントは、判読が難しいものも含め、原則全て記載し紹介しています。ご回答ありがとうございます。

(1) 参加者(小中高校・専門学校生)の属性

①性別：男性	28.3%
女性	71.7%
②属性：小学生	32.6%
中学生	15.2%
高校生	47.8%
専門学校生(※先生からの招待)	4.4%

(2) イベントに申し込んだ理由。

【小学生】

- ・ レモネードスタンドをやるため
- ・ 小児がんについて、もっとくわしくしりたかったから。
- ・ 自由研究の題材をさがして「レモネードスタンド」を見つけたから。
- ・ 「聖路加国際病院」は自分も第三児健診の時などお世話になっていて、小児がんとはどういうものかと思ったから。
- ・ お母さんがせっかくだから申し込もうとって申し込んだ。自分が聖路加うまれだからという理由もある。
- ・ 学校から手紙がきて、お母さんから「これ行かない？」と言われて申し込んだ。
- ・ 小児がんの学習を自由研究にしようと思ったから。
- ・ ママのかって。
- ・ レモネードスタンドが何なのか分からなかったから
- ・ 知っていることがあまりわからなかった。
- ・ レモネードスタンドをやってみたかったし、「小児がん」について学びたかったから。
- ・ お兄ちゃんが小児がんで小児がんについて知りたかったから。外科医になるのが夢で役に立つと思ったから。
- ・ 小児がんと大人のがんは何がちがうか知りたかったから。

- ・ レモネードの作り方などをしりたかったからです。

【中学生】

- ・ レモネードを売って募金ができると学校で配られたポスターで知り、興味を持ったから。
- ・ 母が夏休みのイベントとして見つけてくれた。がんのことや小児科医に興味があったため。
- ・ しんさつの待ち時間の時、待合室の掲示板にはってあるチラシがふと目に入り気になったから
- ・ 学校の Service & Action でボランティアをしなくてはいけなく、レモネードを作って売るのはとても楽しそうだし、小児がんの子供たちのことを知れるととてもいい機会だと思ったから。
- ・ 母に勧められて。小児がんについて学びたかった。体験談が聞きたかった。
- ・ 小児がんとレモネードがどのようなつながりでなっているのか詳しく知りたかったから。そしてレモネードというものがどのようなものかやってみたかったから。
- ・ 小児がんのことについて知りたくて、レモネードスタンドを体験したかったから。

【高校生】

- ・ 姉に誘われたから
- ・ 去年もやったことあるから、今年もやりたいなーと思ってた。I also want to help more.
- ・ 医療系の職を目指しているから。先生にすすめられたから。
- ・ 薬剤師になりたいと思い、さまざまな体験をしてみたいと思ったからです。
- ・ 将来医療関係の仕事につきたいので小児がんについて知りたいと思ったからです。
- ・ 将来、看護師をめざしているから。そして小児がんについて知りたかったから。
- ・ 学校の部活でレモネードスタンドをやるから。参考にするため。
- ・ 以前、学校の文化祭でレモネードスタンドをボランティア部で行おうとしたのですが、売るために、必要なことがなにか、さらに、どのような方々に支援することになるのか、などの知識がなかったため行うことが出来なかったため、レモネードスタンドについてもっと知れるチャンスだと思って申し込みました。
- ・ がんのことをもっとくわしく知りたいです。小児がんにたたかっている子どもたちのためにもレモネードを売って、助けたいと思いました。
- ・ 学校でレモネードスタンドのポスターがはってあったので読んだら気になりました。
- ・ 看護に興味があるから。
- ・ 学校でレモネードスタンドのちらし(?)をみて、参加してみたいと思ったから。
- ・ 学校で配られたポスターを見て、申し込みました。
- ・ 進路で悩んでいたとき、学校の先生に行くことをすすめられて。
- ・ 学校の卒業生の方がポッカサッポロに働いていてそれを話して下さったから。小児がんについて知りたかったから。

- 学校ではられていて興味をもったから
- 学校で掲示してあったパンフレットを見てレモネードで小児がんを支援するという点に興味を持ったことと、将来、看護師になりたいくて、このような機会に小児がんについて知ることによって今後役に立つかもしれないと思ったからです。とても参加しやすい支援の形であったからです。
- 身近な人に小児がんとたたかっていた人がいて、どんな病気なのかもっと知りたいと思った。将来自分が何か役に立てないかなと思ったため。
- 看護師などの医療系の職を目指して、大学で医療系のことを学ぼうと考えているから。
- 真部先生に誘われたため。
- 将来、医療系の職業に就きたいとっていて、学校の先生にもすすめられたから。
- 将来看護師を目指しているのでも、まずは最近多いがんについて知りたいと思ったからです。もう1つの理由は夏休みという期間で今回のイベントから勉強へ対する気持ちを上げていきたいと思ったのでイベントに申し込みをしました。

【専門学校生】

- 小児がんについて深く知りたいと思ったから。実際に小児がんを経験された方の話を聞いてみたかったから。
- 診療情報管理学会で「小児がんについて」発表するため、参考になればと思い参加いたしました。聖路加国際病院へ実習へ行き、真部先生にすすめられ興味を持ちました。

(3) 「小児がん」について思ったこと・感じたこと。

【小学生】

- かわいそうだった。
- 三川草平さんの話をきいて、話を聞く前は1年ぐらいで治療おわるのかな？と思っていましたが、話を聞いて2~3年は治療しなきゃならないとわかりびっくりしました。でも、このイベントに参加する前より「小児がん」についてよくわかったので、この話を友だちなどにもおしえたいです。
- 日本の約2,000人の子供がかかる病気で、その子たちがかわいそうだと思います。でも、そのうち70%は生きることができると知った。だけど、そのかわり30%の子供たちは、亡くなってしまふのがかなしいです。
- 小児がんは一度かかると数年、数十年と治るのに時間がかかるし、たのみの抗がん剤も副作用がすごいと分かった。
- 小児がんという言葉は聞いたことがあったが、くわしくはしなかった。30%ぐらいの人ががんによってなくなっていることはしなかった。それにたたくため多くの人ががんばっているということがわかった。より治療法もふえてほしいと思います。
- 世の中には、小児がんになって痛みや苦しみと戦っている子どももいるのだと感じた。そしてぼくは、病気にならないためにできることをやろうと思った。
- もう意外にたくさんの方が治ることがわかった。大人のがんとはちがう事がわかった。なる人がとても少ない事がわかった。

- 大人のがんとはちがうんだなと分かりました。
- 小児がんで、前は大人のがんと同じやつかと思っていたけど、話を聞くと大人のがんとちがうことが分かりました。
- しょうにがんのこどもをたすけたい
- 小児がんが、なおっている人のほうが多くておどろいた。小児がんを知る前には、ほぼの人がおなくなりになっていると思っていた。
- 小児がんにかかった人たちがつらい思いをして、病気にたたかっていることを知った。
- かかる子たちも少ないし、かかった子の7割は生きているけど、かかった子の3割は旅立ってしまうことに3割の子たちにも、生きてほしいと思いました。
- がんにかかるとひどいことになるのでかかったらすぐびょういんにいくようにしようと思います。

【中学生】

- とても大変そうだけど、頑張って病気を治そうとしている子どもたちやお医者さん、支えてくれる人々のことを知り、力になりたいと思いました。
- 「がん」とまとめられていても、とても種類が多く、患者が子供なので、どうしたら快適にすごせるか、こわくないか、たくさんの工夫が見えて、とてもかっこいいなと思った。小児外科医を目指そうと思っているので、とても後押しされた。
- 大人よりも小さな体でたくさんの抗がん剤をつかったりして大きな負担がかかるが、検査などもいやにならないように先生や看護師さん方たちがくふうしているんだなと思いました。3才くらいの子供が多くかかる病気があるんだと知ってとてもびっくりしました。小児がんにかかっている子が少ない中でも3割の子たちは亡くなってしまうので、もっと薬などの研究をして0はだめだとしても1割にまで下げてほしいと思います。
- 小児がんはとても深刻な病気であることがわかり、まだ幼いのに笑顔で頑張って病気とたたかっている子供たちの姿を見て、とても勇気づけられた。また、治る確率が70~80%ということで、最近の化学は進歩しているなと思った。
- 案外治るということを知り、驚いた。種類も沢山あるけれど、すぐに見分けられる医者とはとてもすごいと感じた。大人のがんとは全然違うことにもびっくりした。
- 小児がんは成人のがんとは違うことをあまりしりませんでした。成人より小児がんのほうがなる人数も少なくなおる可能性がたかいのだなとかんじました。
- 僕は小児がんについて、あまりよく知らないでいました。今回、体験者さんの話を聞いて、抗がん剤治療の副作用は大変だなと感じました。

【高校生】

- 小児がんと普通のがんの違いを今まで知りませんでした。がんでも全くの別物ということを知りました。2,000人の方が毎年小児がんになっているとして少ないのかもしれないけど私は多く感じました。私の周りにはいなかったのですがそういうものがあると知ることができて良かったと思いました。

- I knew and gain more knowledge about it and became more aware kids with cancer are so strong and brave and respect them so much. I'm also happy that every year, the number of kids with cancer are decreasing.
- 大人と子どもではがんが違うことに驚きました。小児がんは子どもがなるだけで、あとは変わらないと思っていました。白血病はがんだということにも驚きました。小児がんといっても、がんによってなりやすい年齢が変わるということに驚きました。70%~80%が生きれるのを嬉しいと思ったけど、20%~30%の人が助からないことは悲しいと思った。がん細胞が自分の心身の中で作られているのに驚きました。私も作っているし、皆、何で自然の害となるがん細胞を作ってしまうのか気になりました。小児がんにかかるのは嫌だけど、小児がんになっても勉強をできるのは嬉しいことだと思いました。小児がんの子達は強いと思いました。精神が強くないと、やっていけないのかもしれないけど精神が強いのはすごくかっこいいと思いました。抗がん剤の副作用も心と、その人が頑張っていて乗り越えることができるというのは大変だと思うけど経験しないとあまりこれからはないと思いました。
- 70~80%の子供は小児がんが治ると聞きましたが、その他の子供は天国に行ってしまうと思うと、とてもかわいそうだと思いました。早く治ってほしいです!!
- たくさんの種類があること、そして70~80%は治ることを知り驚きました。子どもの方が治療の際に辛さをあまり感じないということも初めて知りました。
- 身近で小児がんの人がいないからこそ、どんな病気か知りたかったので深く知れて良かったです。今は70~80%の確率で治るというのでおどろきました。
- つらいことや苦しいことばかりだと思っていたけど、支援が充実していていいと思った。小児がんの間違った情報も広まっているだろうから、正しい知識を身につけていきたい。
- このイベントに参加する前に、私の想像していた「小児がん」とは、治すのが難しく、子どもの頃にかかりやすいものだと思っていたため、本当に「小児がん」に対するイメージが全く変わりました。
- 毎年日本でレモネードスタンドのボランティアがあって、本当に良いと思いました。去年の1年生のときレモネードスタンドのボランティアをやらなかったので今年やりたいと思いました。
- 小児がんは思ったより全然絶望な病気ではなかった。そして、治るためには治療を受けるだけではなく、周りの人のサポートや、メンタル・ヘルスも大事にしないといけない。そのため、医者だけじゃなくてNGO、ボランティアの方、ソーシャルワーカー、研究者の方の力も必要となるを知りました。
- わかりやすかった。成人がんよりも、なおりやすく、かかりにくいということにおどろいた。成人がんよりも、人生の先が長いので治療証明証などで、どうしたのか、というのはいいと思うし治療というよりも遊びという感覚でやるのは子どもの精神的にもつらくないと思うので、いい。
- 年間に2,000人程度しかならないということに驚いた。これから先、もっと生存率があがって、小児がんになってしまった人たちが全員たすかるぐらいに医療が進歩す

れば良いと思いました。

- 「小児がん」という名前をきいて、文字から「小さい子のがん」ということは思ったけど、実際には、大人がなるがんとはまったく違うし、かかる人数も少なくて、おどろきました。医者や看護師だけでなく、多くの人の協力が必要で、そうやって1人の子を救っていくんだなあ、と思うと、本当にすごい事だし、自分もそういう事に関わってみたい、ととても思いました。聖路加病院のように、子ども達の為の施設が整っていたり、治療が終わってからの生活の事を考えたり、しなきゃいけないことが多いけど、その分、治ったときの喜びも大きくなるんだろうな~と思うと、なんだか嬉しい気持ちになりました！
- 小児がんにかかる子どもは少ない、つまり珍しい病気ということから、あまりお金がかかれず、種類も多いため、研究がすすんでいないのではないかと、思っていました。他の病院の医師と協力し研究チームをつくって、生存率は70%と高い割合をしめていることに驚きました。そして、小児がんの治療には、ただがんを治すだけでなく子どもの教育のこと、精神面などたくさんのケアが必要で、その分たくさんの方が関わることの大切さを知りました。しかし、その分、個人にかかる金銭面での負担も多くなってしまうと思うので、募金などで多くの方が協力していけるようになると良いです。
- 小児があるということしか知らなかったのですが、今でもなお20~30%の子供は小児がんで亡くなっていること、症例数・患者数が少ないことなどたくさん話を聞いて良かったです。また、病気にかかってしまった人でも、病院でのイベントを楽しんだり、先生・看護師の方だけではなく、たくさんの方が関わってくれていることがとても大事で大切なことなのだなと思いました。
- 小児がんも成人が患うがんも同じだと思っていたので、驚きました。助からない30%が少しでも減るようになってほしいと思いました。生存率を10%上げるのに、何千もの人が犠牲になるときいて、とても悲しく感じましたが、今自分がこのように生きていられるのも、その犠牲があったからと思うと、これからもっと強く生きていきたいと思いました。
- 約7割の患者さんが助かるということで成人のがんに比べて治療に希望が持てると思いました。しかし周りの子どもたちが元気に遊んだり、学校に行ったりしている中で、がんと戦わなければいけないことは、私たちが考えるよりもずっと大変なことでつらいことだと感じました。だからこそ病院内で授業が受けられたり、イベントがあったりすることは治療の励みになり、そのような企画の重要性は高いと思います。もっと多くの命がさらに救え、社会に出られるように医療が発展してほしいです。
- 小児がんは、医療技術の進歩で70~80%なおることを知って少し安心した。グループ臨床実験が行われていることを初めて知った。小児がんになった子供は自分の病気がどんなものか、理解できているのか疑問に思った。どんな子供にも安心できる治療が大事ということを学んだ。
- 小児がんについて、今まで全然知らなくて、その名前だけは知っていたけれど、その症例などは初めて知った。「小児がん」だけで特別に考えたことはなかったから、すご

いチームワークで働いているんだということも初めて知った。小児がんって少なく、とても辛いと思うのにスライドの中で、みんな笑っていて普通に生きている私が恥ずかしくなったし、とても尊敬した。

- ・ 私も小4の時に卵巣腫瘍で入院していて、小児がんについてその時学びました。しかし、知らないことも多くあったので、とても今回参加して良かったと思いました。より多くの子供ががんから治るよう頑張っているのだと改めて感じました。
- ・ 成人の人がなるがんと、小児がんは全然症状も治る確率も違うということを知りました。私が映画や本などで知っているがんにかかってしまう人は完治できる人の方が圧倒的に少ないため、がんにかかってしまうと、ほとんどの人は治らないと思っていました。しかし、実際は医療の発展などにより、小児がんの場合、約70%近くの方が治ると聞き、驚きました。実際に体験した方の話も聞くことが出来、とても貴重な経験になったと思います。
- ・ 小児がんになっている人をあまり聞いたことがなかったので治るのは難しいと思っていましたが、成人よりも治る確率が高かったのが驚きました。実際になったことがある人が今社会で頑張っている話を聞いて私も少しの苦痛で負けてはいけないと思いました。

【専門学校生】

- ・ 治療成績が良好だが、それでもまだ20%の子どもが亡くなってしまうことを知り、少しでも多くの患者が治癒するようになってほしいと思った。治癒後は学校、就職、結婚と未来が待っている為、治療に関するケアだけではなく、学習や様々な面でのサポートが必要だということがわかった。自分も募金などを通して力になればと思う。
- ・ 研究していてもですが、本日の授業や体験談を聞き、成人と小児の違いははっきりしており、改善されているものやそうでないものなど貴重なお話を聞け、良かったです。ぜひ、研究発表の参考にさせていただければと思います。

(4)「レモネードスタンド」について思ったこと・感じたこと。

【小学生】

- ・ わたしもレモネードスタンドをやっておかねをきふしたいです。
- ・ まだ4さいぐらいのアレックスは自分の病気があるというのに人の病気のことをかんがえて「レモネードスタンド」を始めるなんてすごいと思いました。私もやってみるとかけ声が以外と大変でした。私も中学生になったら、文化祭でやってみたいと思いました。
- ・ もともと、4才の女の子が始めたのが、世界へ広まったのが、その子の始めたことは、いいことだったのだなと思いました。目標の数までは足りないけれど、募金してくれることがありがたいと思いました。
- ・ アレクサンダーという女の子は小児がんのすごさを世界中に広めた事で人々があらためて考えるようになった、というすごくいいことをした。そしてレモネードで人々を救った。

- ・ レモネードスタンドについては初めて知った。一人の少女が思いついてはじまったのはすごいと思った。いまはいろんな国にひろまっているので、もっとひろまるとよいと思う。さらに募金が増えてなおる人がよりふえて 99%ぐらいになったらいいと思った。
- ・ 今のぼくの学校ではユニセフ募金をやる予定なので、レモネードスタンドも提案してやってみたいと思った。
- ・ おいしかった。作るのがかんたんだった。家でもつくってみようと思った。
- ・ 家でレモネードを作ってみようと思った。レモネードスタンドをやってみようかなーと思った。
- ・ レモネードもおいしかったし高校生になったら文化祭でやってみたいです。
- ・ レモネードはあまかった
- ・ アレックスちゃんはレモネードスタンドを思いついたのがすごいと思った。
- ・ レモネードのおかげで元気になれることを知って元気がない人にレモネードを飲んでもらって少しでも元気になってほしいと思った。レモネードスタンドをしてお金をためて病院に送って少しでも小児がんが早く治る薬を作してほしい。
- ・ 小児がんの子が他の小児がんの子たちに、ぼきんかつどうをしてあげたいということに、アレックスという女の子は、とてもやさしいと思いました。
- ・ かんたんな作り方だったので家でも作ってみたいと思いました。

【中学生】

- ・ レモネードスタンドをはじめて行ったアレックスちゃんはすごいと思いました。自分だけでなく他の子のことも考えていて、日本でももっと広めてほしいです。高校生になって飲食物の販売ができるようになったら、文化祭でもやりたいです。
- ・ 1杯 50円でも、あつまればとても大きな役割を果たすんだと感激した。このような活動がもっと日本で広まって、がんの治療に役立ててほしい。かかっているなくても、がんを知ることでもできるだろうから。
- ・ 私の学校は中高一貫で中学生はまだ模擬店を出せないのですが、中学の間は違う所で高校になったら学校で行ってみたいです。レモネード作りがこんなに簡単だった事にとってもびっくりしました。
- ・ この企画は、小児がんとたたかっている子供たちを1人でも多く助けられるととてもいい企画だなと思った。レモネードもとても美味しかった。
- ・ そんな切ない話があるとは思わなかった。私にできることがあれば協力してあげたいと思った。
- ・ つくるのは簡単でとてもおいしいなと思いました。Alexさんはとてもすごいなと思いました。
- ・ みんなが参加して小児がんの子供を助けようとする思いが強いなと思います。

【高校生】

- ・ 簡単にできるし、ちょっとしたイベントで自分たちも楽しくやることができているな

って思いました。

- Lemonade stand and doing it is such a fun experience knowing what you're doing has a good effect on the people around you.
- 自分も病気になるのに、人のことまで考えることができすぎていいと思えました。どうしてレモネードなんだろうと思っていただけのお話を聞いて納得しました。60円だけど、そういう子たちをみてそれ以上の金額を払いたいと思う何かがあると思えました。今日実際にやってみて、これをやってみようと思うのはすごいと思えました。自分からは思いつかないことだし、4歳の時に何かを作ろうと思ったかということではないと思ひ、友達のためというふうに始まったレモネードスタンドはあたたかいと思ひました。皆がすごい助けたい、手伝いたいという気持ちで続いているのをみると私も何かできたらいいなあと思ひました。
- アレックスちゃんのおかげでレモネードスタンドができたと聞き、病気もあるのに皆のためにできることはないかと考えているのがすばらしい事だと感じました。また、このような募金があった際は私も募金したいと思ひます。
- 声をだすことが難しかったです。研究費用に年間約2,000万円必要なことも知れたのでどこかでレモネードスタンドをやっていたときは買いに行きたいです。
- 何か、ものを売ってお金にしてそれを人のためにという考えがとても良いと思ひました。駅でよく募金とかやっているから、そういうので人の命を救いたいと思ひました。
- 学校の授業で学んだアレックスのレモネードスタンドをより身近に感じられた。学校以外の場所でもできそうなので、学生などが自主的にやって、もっと活動が広まってほしい。
- レモネードを販売することは、私達にとって難しいものではなく、ただ大きな声を出す“勇気”さえあれば誰にでも出来るので、行事として色々な場で提案したいと思ひました。さらに将来自分もよい医療を通してこのような活動に協力したいと思ひました。
- 他の人に「レモネードをいかがですか。」と聞くと、本当に楽しいなと思ひました。レモネードを売っている時に、だれかの人生を助けられると思ったら本当に嬉しいです。
- 実は自分の母親もがんをかかったことがあります。どれくらいだけ大変か、どれくらいだけお金をかかるなどはだいたいしってたんですけど、小児がんははじめてくわしくなだったので、色々なことを感じました。私が一番おもく思ったのは、自分には何が出来るか、どうしたらもっと周りの人に広げて知られるか。将来はボランティア活動や social worker になりたいと思ひてます。
- 買ってもらった時はうれしい。ふつうに募金するよりもいいと思った。なおることも大事だけど、後遺症の残らないようにしてほしいと思った。1日でも早く30%の人が少なくなるようにしてほしいです。レモネード砂糖入れすぎだと思った。私の後輩が小2から中1まで白血病でくるしんで、残念ながら70%の中には入れなかったので、70%から100%に1日でも早くなしてほしいと思ひました。
- 作るのがとても簡単なので、小さい子どもでも簡単に作れて良いと思った。材料も少

ないので複雑な工程もないので良い。砂糖が下にたまらないように、しっかり混ぜる必要はある。

- 小児がんやアレックスちゃんとかの話をきいてから、この活動は、とても簡単にできるし、誰かのためになるし、とてもいい活動だな！と思いました！実際やってみると、みんなで作るから楽しいし、コミュニケーションをとったり、自分も相手も、それと、その場にはいない小児がんの子たちも、笑顔になって、広がっていくんだと思いました。そういう事に関わる事って、自分がそこでその事をしている意味があるし、上の枠にも同じような事を書いてしまったんですが、本当に、そういう事に関わりたい、誰かが笑顔になるような事を、将来していきたい。と思いました！レモネードスタンド、色々な人に伝えたい！です！
- レモネードおいしかったです。レモネードスタンドのように、小児がんの子どもたち、その家族に協力できるような機会がもっと増えて少しでも多く募金をつのれたら良いなと思います。
- 自ら患いながら他の友達のために募金してあげたりすることはとてもすごいことだと思いました。私もこれを機に少しでもこの活動に関わりたいです。また、私も小児科の看護師になって小児がんの子供たちを助けてあげられるようになりたいです！ありがとうございました！
- そのような取り組みが行われていることを初めてして、自分もいつかこのような取り組みに参加したいと思いました。
- レモネードスタンドはただ普通に募金などをするよりも美味しく、楽しく支援することができ、小さい子どもから大人まで誰もが参加しやすい形でとても良いと思いました。たった1杯のレモネードでもたくさん売ればその分だけ小児がんの子どもたちが救われる道が広がるので、自分の高校の文化祭でも取り入れて欲しいです。1杯のレモネードが果たす役割の大きさを感じました。
- とても簡単につくれた。レモネードスタンドで1人でも多くの小児がんの子を助けてほしい。文化祭やお祭りなどで開催することはより多くの人に小児がんのこと、活動を知ってもらう良い機会になると思うので、良いと思った。私の学でも行うそうなので積極的に支援していきたい。
- 一人の子どもの考えで、こんなに世界に広がるなんてすごいなと思った。この機会をきに、たくさんの人が小児がんについて知ろうと思い、たくさんの人に広がれば良いなと思う。参加しただけでおわりにせずこれからの行動・活動につなげていきたい。私は高校生になって、「レモネードスタンド」を初めて知ったので、参加している小学生はすごいなと思う。
- レモネードスタンドのことは知っていましたが、詳しくは知りませんでした。これを機に多くの人がこの活動について知れたと思います。私も小児がんを苦しんでいる子供の力になれる様、協力したいです。素晴らしい活動だと思いました。
- レモネードを作って売っていたアメリカの女の子の話は聞いたことはありましたが、あまりくわしくは知りませんでした。自分も病気なのに、他の病気の人が治るようにとレモネードスタンドを作り、そのお金を病院に寄付していたのは、とてもすごいこ

とだと思いました。実際、レモネードは初めて作りましたが、とても簡単にでき、おいしかったです。これからもたくさんの募金が集まるように、機会があったら参加していきたいです。

- ・ 声を出して売るのもとても大変でこういうのがすぐにできる人はすごいと思いました。すぐにできる人達こそ人のために何でもつくせたりできる人であり、これからにおいて必要な人材になっていくのだと思いました。これから、レモネードスタンドを行っていたら買いに行き少しでも助けたいと思いました。

【専門学校生】

- ・ この活動が広まり、小児がんに対する理解が少しでも増えると良いと思う。自分もレモネードスタンドを開催してみたい。ありがとうございました。
- ・ 小児がんについて知ろうと思っている、小・中・高生がたくさんいらっしゃって、素晴らしいと思いました。素敵なイベントでした。ありがとうございました。

(5) 見学者の属性

①性別：男性	11.1%
女性	88.9%
②立場：親	100.0%
その他	0.0%
③参加目的	
小児がんについて知りたかったから	33.3%
子ども・兄弟・姉妹が小児がんだから	11.1%
知人・友人が小児がんだから	11.1%
家族や知人ががん（大腸がん・乳がんなど）なのでがんについて知りたかったから	11.1%
レモネードスタンドのお話を TV で見たことがあったから	16.7%
ボランティア活動や、社会貢献に興味があったから	38.9%
送迎（付き添いのため）	61.1%
その他	11.1%
その他（詳細）	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 小児がんやレモネードスタンド活動を子どもに知ってもらいたかったため ・ 子どもの髪の毛をヘアードネーション目的で伸ばしていて、子供にガンについて理解して欲しかったから。 	

【感想】

- ・ 小児がんの子供は近くにいないので、知る機会もないので今回の講座に参加することにしました。小1と小5の子を参加させましたが、とても勉強になったと思います。またレモネードもおいしく作れたようでよろこんでいました。
- ・ 子供がどのような気持ちで今回のイベントに参加したのか分かりませんが、自分と同

年代の子供の中に、辛い治療を頑張っている子がいるということや、その子が良くなる為に多くの人力が集まり支えていることを知るよい機会になったのではないかと思います。成長発達や思春期に病気とむきあい治療を頑張る子供達が多く、ストレスをかかえて病院や家ですごしていく中で、そういう子の周りにはいる人の存在やそれぞれの役割が重要だと感じました。アレックスの話をきき、子供でもできる活動を知り、今後子供自身が何か出来ることを考えてみてくれるといいなと思います。

- 特に固形腫瘍ではまだまだ生存率が低いのが現実。レモネードスタンドのような活動を通じ、小児がんの研究がより活発になり、小児がんで命を落とす子供がいなくなる未来が来ることを信じています。
- 簡単に作れるレモネードで小児がんの為になる事ができるならやってみたいと思いました。子供にとって良い経験になりました。
- 小学生ですが少しずつでも社会に役立つ活動を自らしたいと思ってほしいので参加しました。今日学んだ事をどこかで実行にうつして実際体験できればと思います。良い機会をありがとうございました。
- このようなイベントをきっかけに小児がんについて勉強させていただきました。子供たちにも良い経験になったと思います。ありがとうございました。
- 小児がんの事がとても良くわかりました。レモネードスタンド是非やってみたいです。
- 息子が行きたいという理由での参加でしたが、先生や経験者の方のお話をきけてとてもよかったです。研究が進み、1人でも多く生存できるようにと切に思いました。又、子どもも、こういうことを理解して、自分も小児がんの子達を助けたいと思ってくれればと思いました。とてもよい講座でした。ありがとうございました。
- 真部先生のお話は対象が小学～高校生と幅広く、どこにポイントを合わせたらよいか難しかったと思いましたが、やさしい言葉で分かりやすかったと思います。小川さんのお話、なかなか体験を語る方がいないなかでこういう場でお話を聞いて貴重な体験となりました。主治医の真部先生と仲が良いのは、よい治療を受けてきたんだなあと感じさせました。レモネードスタンドは子どもでも小児がんへの支援を出来るという自信をつけてくれる体験になりました。さっそく家の前でやりたい！と子どもに言われました。
- ガンの子どもをサポートする体制として様々な職種の専門家が携わっていることを知りました。子供は治りも早い、というのは救いですね。死に至る人が少しでも少なくなれば、と思います。三川さんの体験談はとても貴重でした。ガンを克服して社会人として活躍されている姿はあらゆる人に大きな力を与えてくれると思いました。レモネードスタンドのスタートとなるアレックスの言葉も重みがあり素晴らしいと思いました。
- 家族や知人、親戚にもがんになった人は周りには居ないのですが、自分自身の健康について考えるきっかけにでもなればと思い、また夏休みの自由研究の材料になる、とても良い機会と考え参加させて頂きました。先生の小児がんのお話は大変勉強になり、子供にはレモネードスタンドを作り、飲めるという楽しみも付いており、親子で楽しませて頂きました。また、体験された方が社会でしっかりとご活躍されているのには、

子供達に勇気を与えてくださったのではないかと思います。ありがとうございました。

- 小児がんについて、わかりやすいスライドで説明があり、よかったと思う。がんは治らないもの、というイメージが強かったのですが、小児は70~80%は治ると知り驚きました。聖路加病院の「治療サマリー」と「治療終了証」は貴重な治療歴は大切な宝物ですね…。三川さんの話の中で、「髪が抜ける事よりも吐気の方が苦しかった…」という言葉が印象的でした。レモネードスタンドは、とても素敵な活動だと思います。以前、豊洲のハーモニカのイベントで知り、今回は2回目です。本日は貴重な体験をさせていただきまして、ありがとうございました。多くの子どもたちが病気に勝てるように、ますますの医療発展を期待しております。
- この1~2年で、身近に白血病に子どもがなったということがあった。(それも2人も)12才や15才の子どもの年齢だったので、びっくりした。家族にもがんになった人はいないといっていた。1年の闘病し、退院していた。思春期もあり子どもの心のケアが大変だったと友人は言っていた。抗がん剤が子どもには、よく効いたと話していた。現在は学校へも行き、普通の生活を送っています。今日、小児がんの話を伺い、治りやすいと知り、少し安心しました。主人もガン治療の研究をしており、最新のガン治療がどんどん出てきていると感じております。ですが国や企業の補助金では足りていないということも現実です。応援していきたいと思えます。
- 小児がんと大人のがんに違いがあることを今まで知らなかったのができて良かったです。いつかすべての小児がんがなおる時が来ることを願います。今日は参加させて頂きありがとうございました。
- 私自身も家族もがんになった事はありません。小児がんになると治らないのではないかと感じていましたが、本日の話を聞いて、とても勉強になりました。もっと周りに広めたら、とても良いだろうなあと思います。
- 子どもと二人で参加しました。実際の病院でお医者様の話をきいたり、元患者の方の生の声を聞いて、迫るものを感じました。これから親子でまずは関心を持ち、そして、少しずつでも行動に移せるようになっていこうと思いました。ありがとうございました。
- 夏休み中に「がん教育」に良いと思い、実際に参加をして良かったです。「小児がん」と「大人のがん」について、先生のお話も分かりやすかったです。